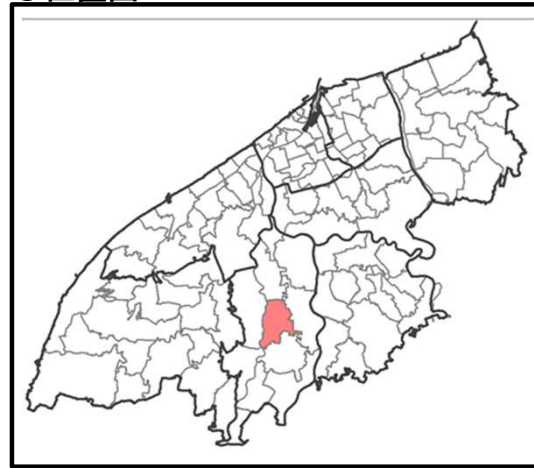


様式1 人口、建物、避難所等の施設、災害危険性の評価

●住所名称

Table with 3 columns: 住所名称, 白根水道町, 保坂. Lists various neighborhoods like 鯉淵, 鯉淵1丁目, 神屋, etc.

●位置図

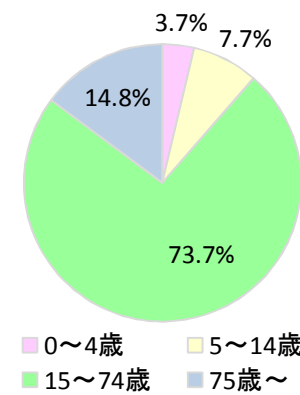


●施設・団体

Table listing facilities and organizations: 市役所・区役所等 (南区役所), 警察・消防 (新潟南警察署), 消防団 (南方面隊), etc.

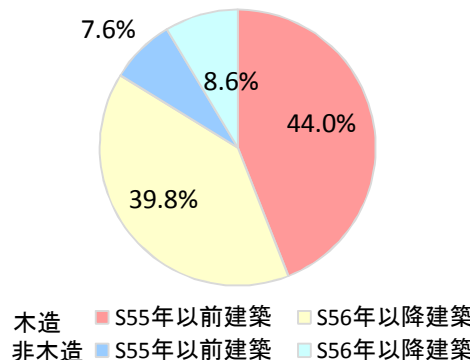
●人口

Table showing population statistics: 総人口 (12,310), 0~4歳 (452), 5~14歳 (954), 15~74歳 (9,078), 75歳~ (1,826), etc.



●建物関連指標

Table showing building-related indicators: 総棟数 (7,185), S55年以前建築 (3,163), S56年以降建築 (2,857), etc.



●地区内の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites within the district: 施設名, 標高 (m), 階数, 避難可否 (地震, 津波, 洪水, 土砂災害).

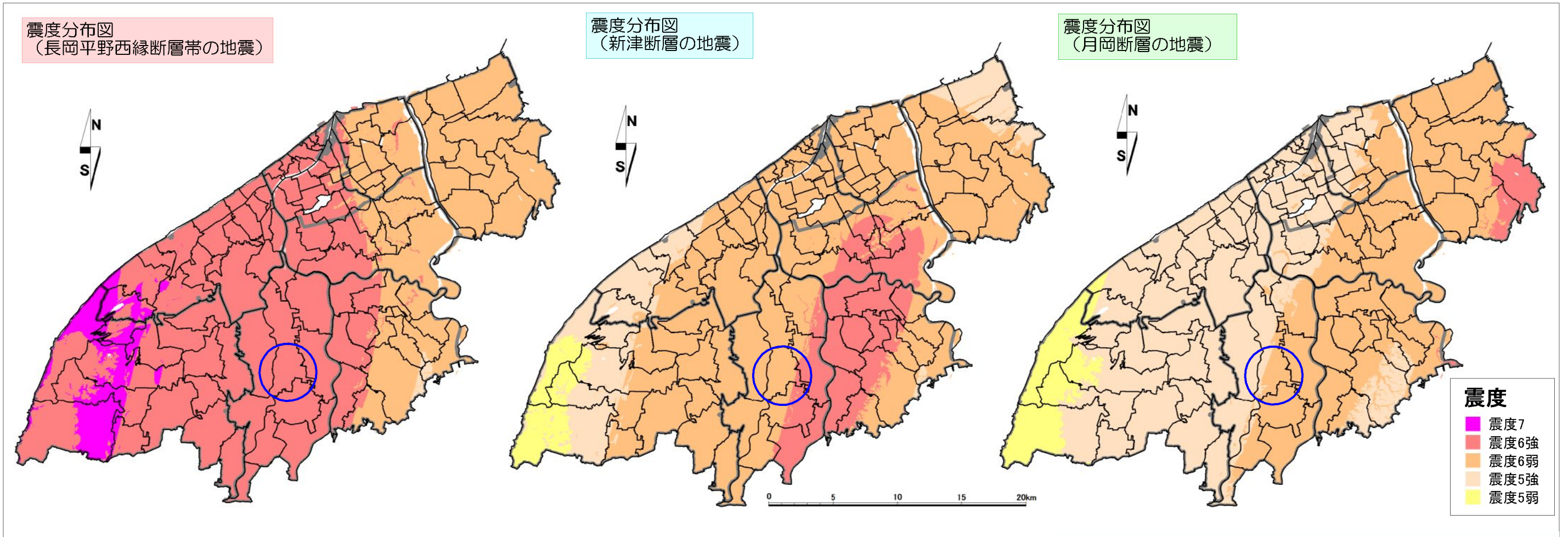
●地区外の避難所・津波避難ビルなど

Table listing evacuation sites outside the district: 施設名, 標高 (m), 階数, 避難可否 (地震, 津波, 洪水, 土砂災害).

避難の可否:「-」はそれぞれの災害で避難の対象外、津波で「×」の施設は、津波避難の対象外かつ津波浸水の危険性がある。

●災害危険性の評価

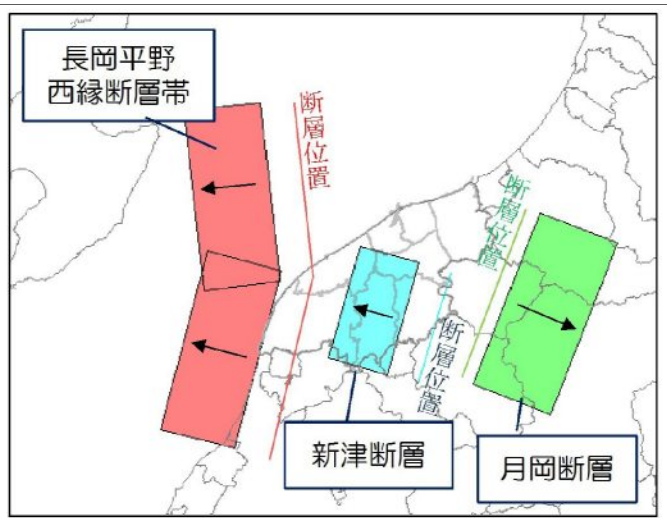
Table evaluating disaster risks: 津波 (地震), 水害 (土砂). Describes risks like liquefaction and flooding.



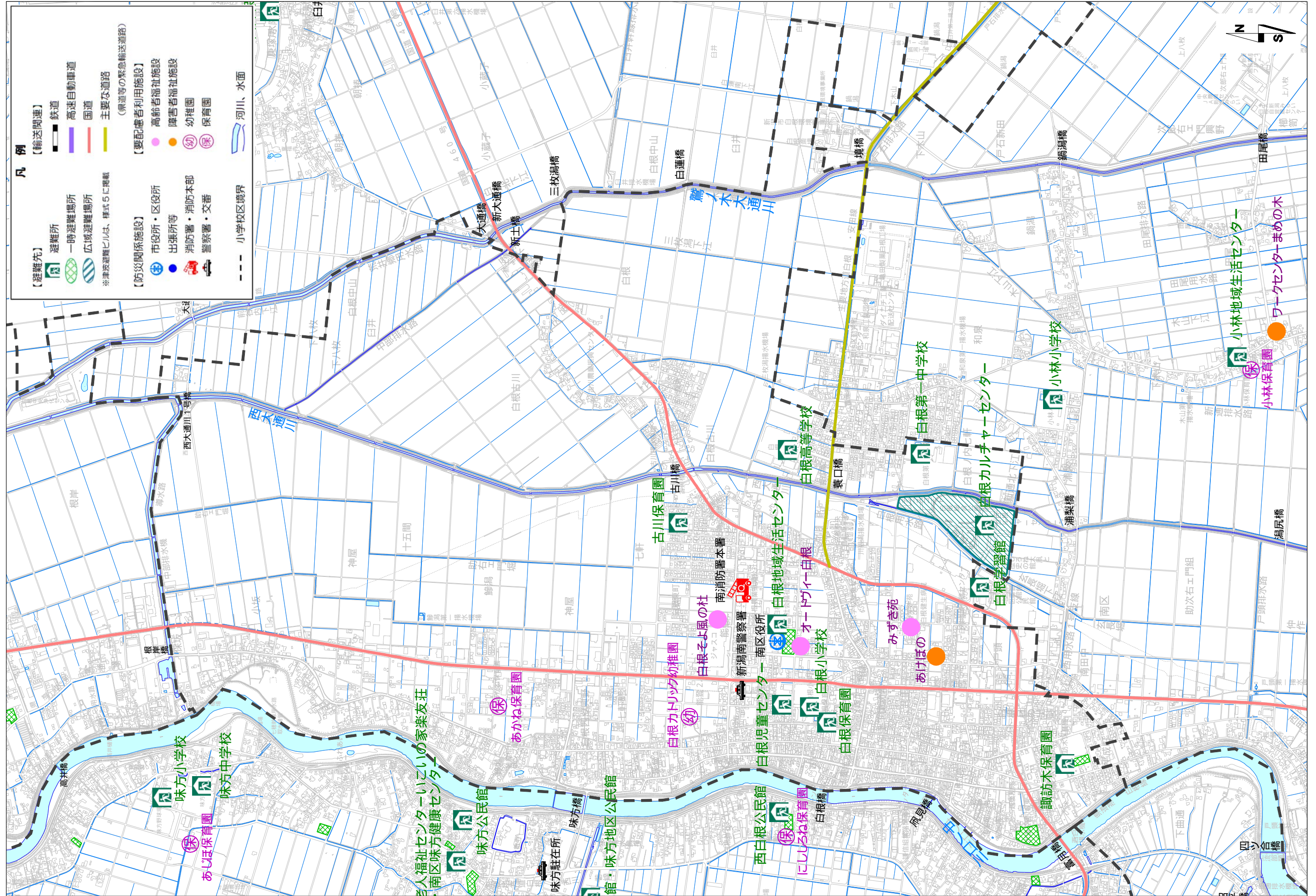
	長岡平野 西縁断層帯	新津断層	月岡断層
地震の規模: モーメント マグニチュード	7.46 (気象庁マグニチュード 7.9に相当)	6.45 (気象庁マグニチュード 6.7に相当)	6.76 (気象庁マグニチュード 7.1に相当)
(参考※)	平均活動間隔 約 1,200 年~3,700 年 断層の活動性 3m/千年程度	明確な活動性は明らか になっていない。 月岡断層より、活動性 は低いと考えられる。	平均活動間隔 7,500 年以上 断層の活動性 0.4m/千年程度

※(参考) 国の地震調査研究推進本部の活断層帯の長期評価(算定基準日:平成 27 年 1 月 1 日)及び東京大学地震研究所 佐藤比呂志教授の助言を参考として記載しています。
【地震発生確率について(地震調査研究推進本部資料より)】
過去の地震活動の時期や発生間隔は、幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、地震発生確率は不確定さを含んでいます。また、新たな知見が得られた場合には、地震発生確率は変わることがあります。

<<モーメントマグニチュードと気象庁マグニチュード>>
モーメントマグニチュードは、地震で岩盤が動いた面積等をもとに計算するため、計測に時間を要しますが、エネルギーの規模を正確に測定することができます。これに対して、気象庁マグニチュードは、地震計で計測される波の振幅から計算しており、迅速に発表することができます。

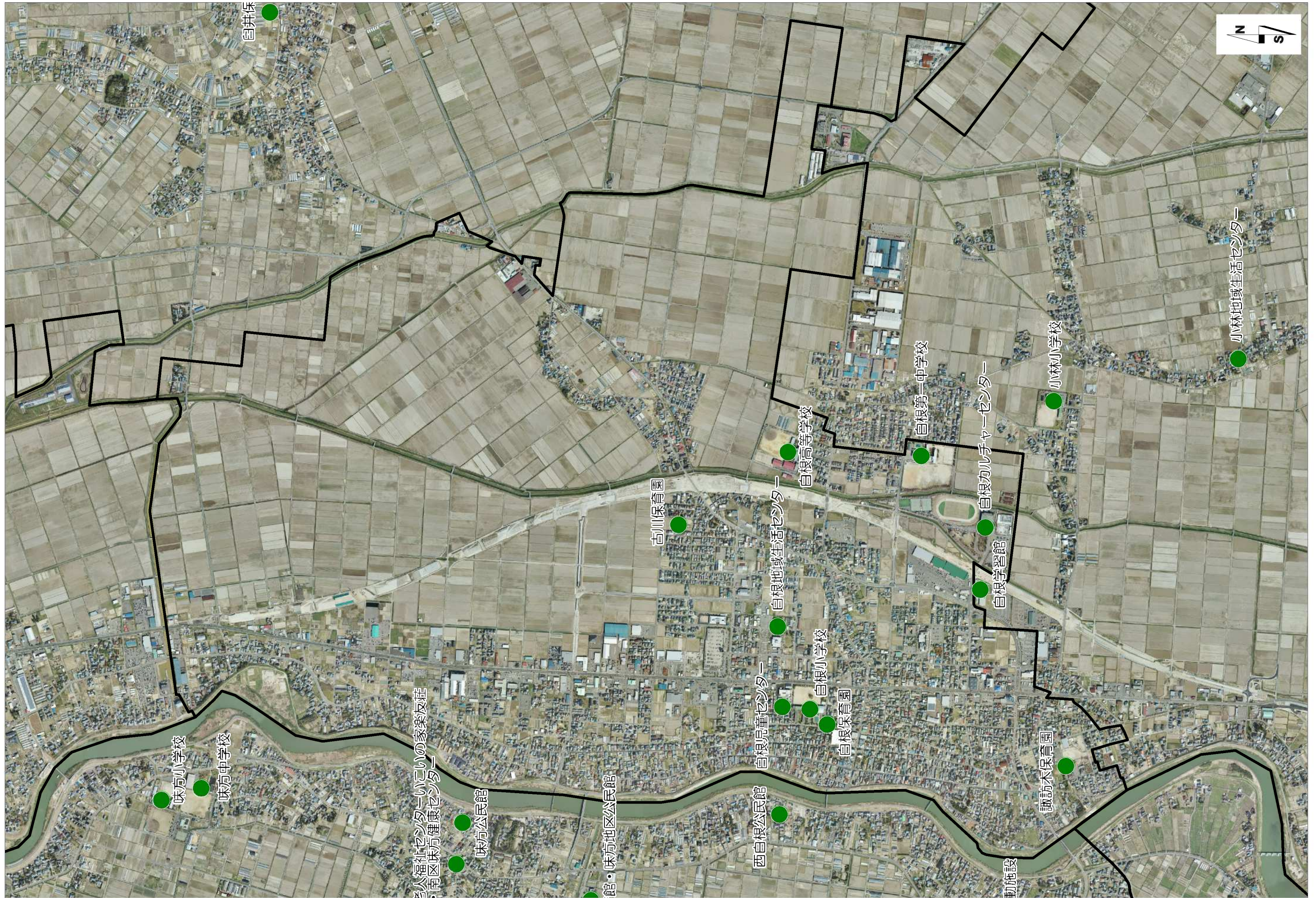


← は、断層の傾きを示しています。

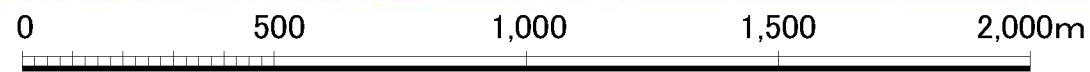


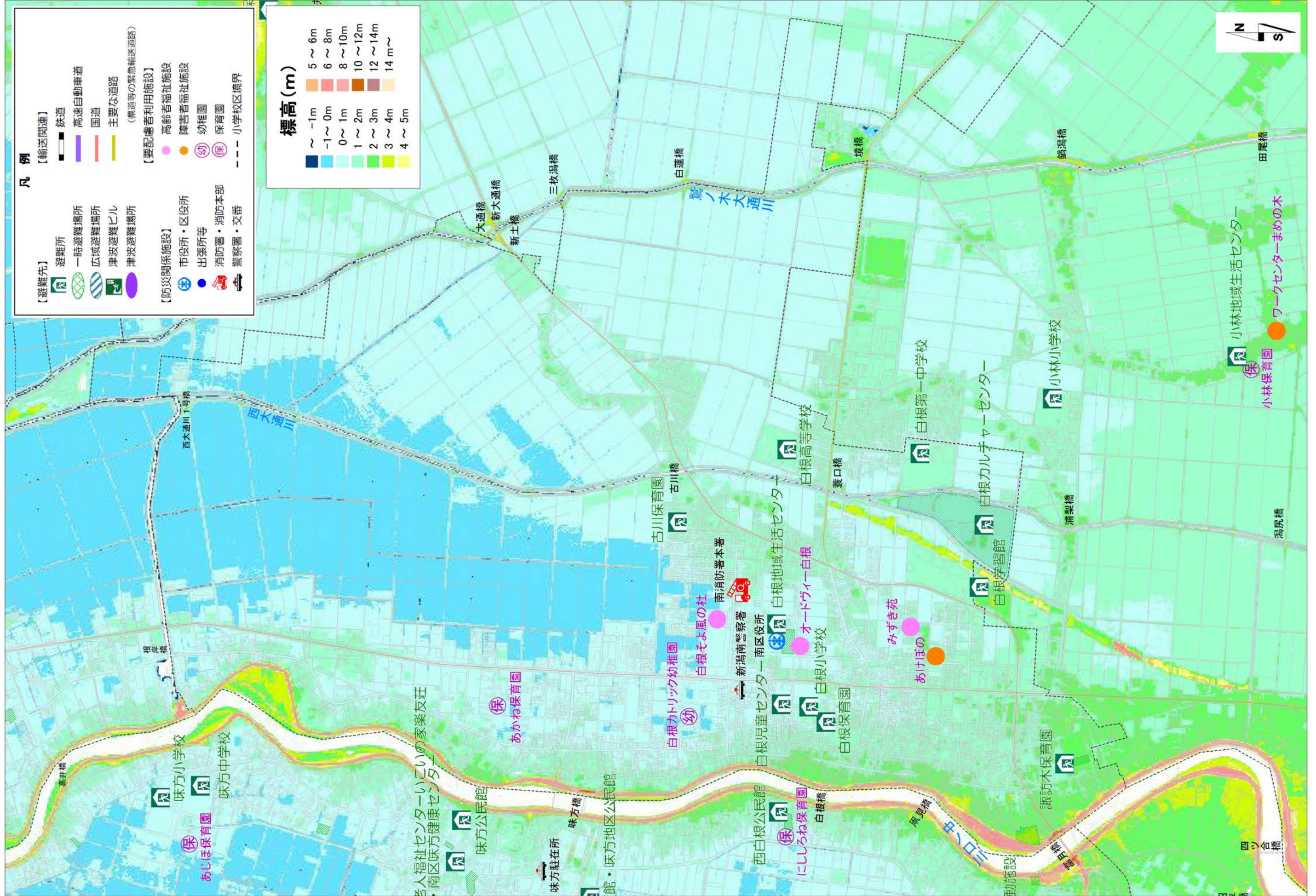
[出典] 棋盤の地図 新潟市国土棋本図 (平成20年,平成25年,平成26年)

0 500 1,000 1,500 2,000m



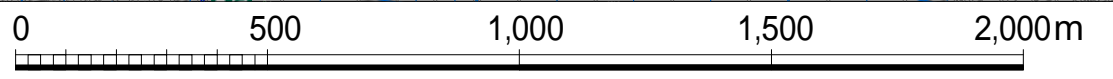
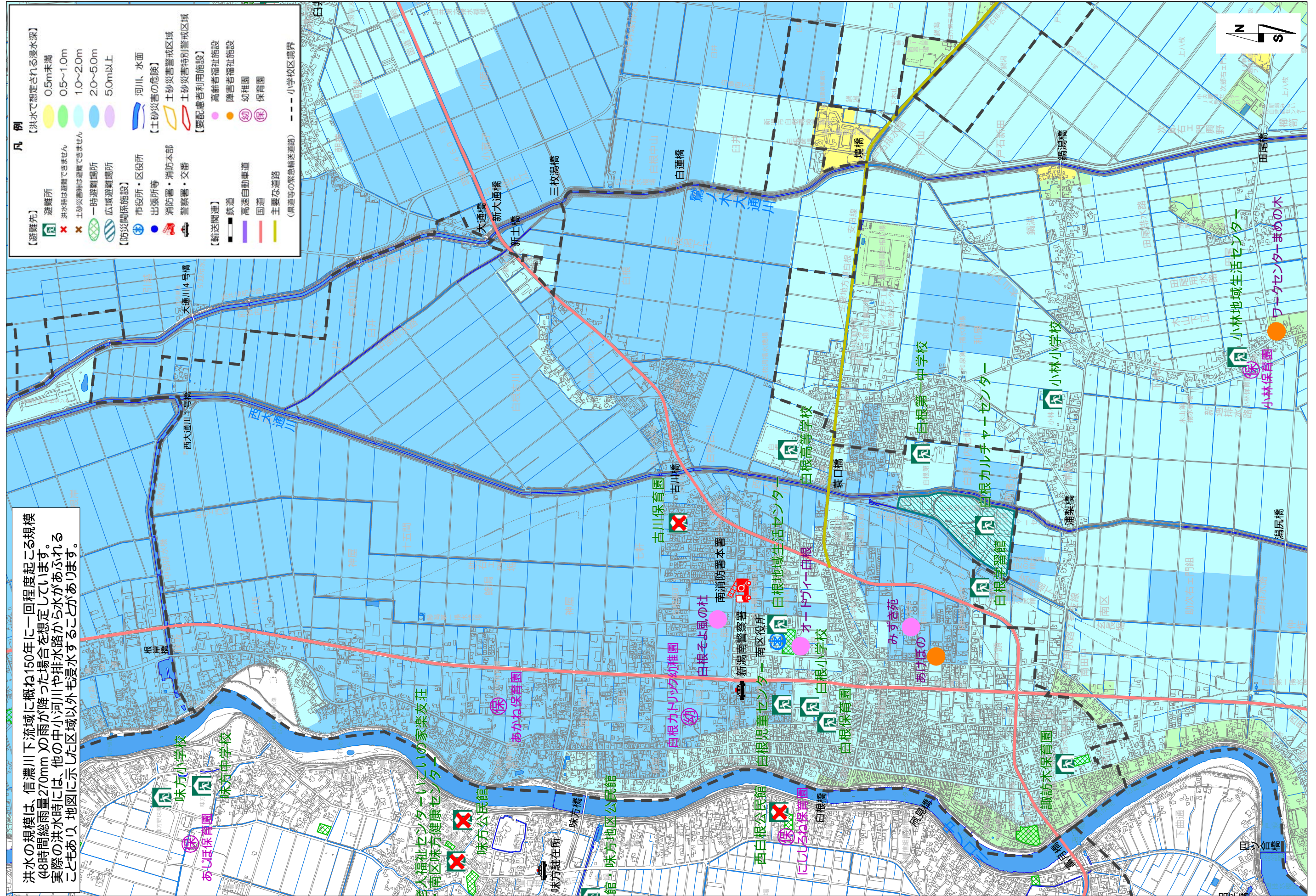
〔出典〕 航空写真(平成26年4月)



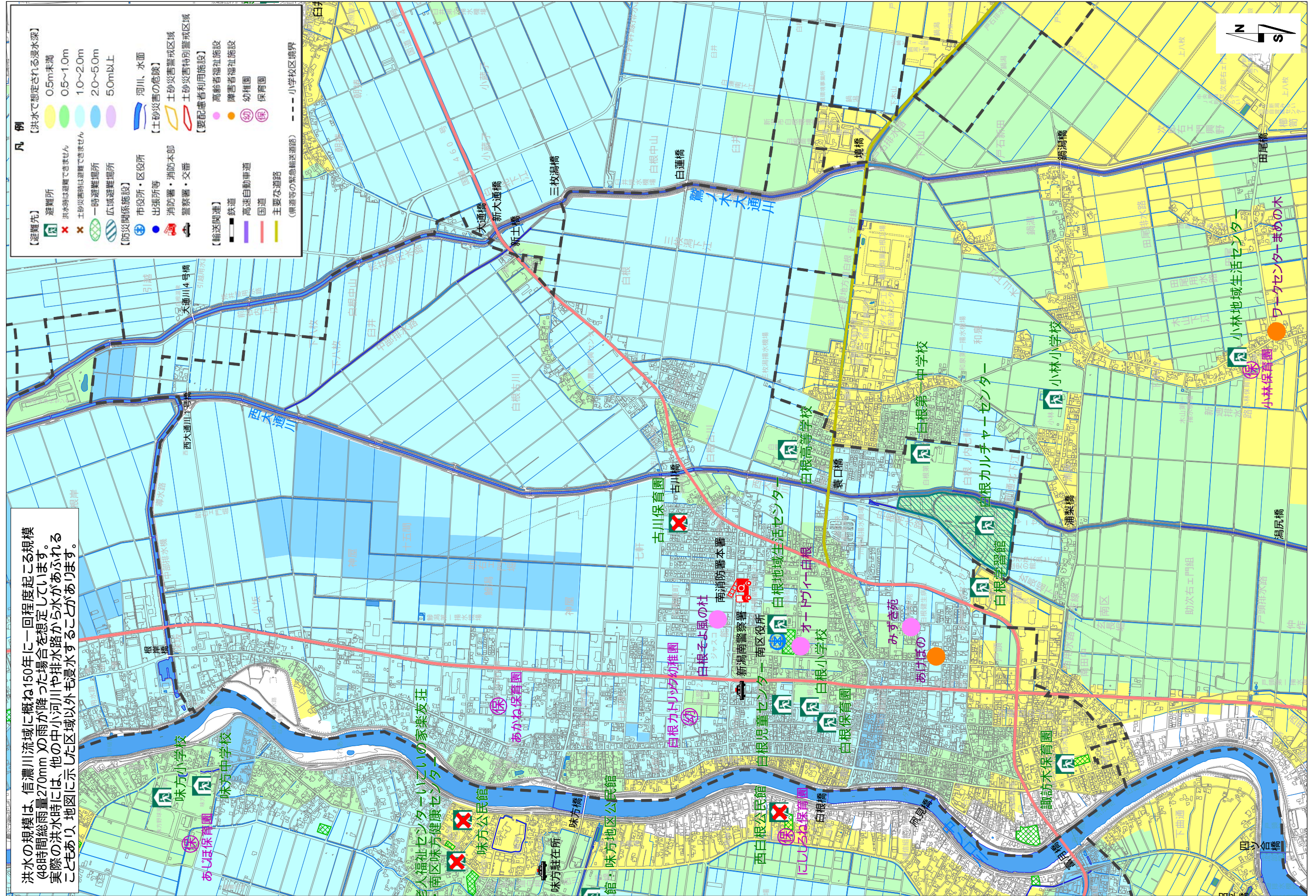


[出典] 基礎の地図 新潟市国土基本図(平成20年, 平成25年, 平成26年)
 5mメッシュDEM(国土地理院, 平成25年)

様式6 - 1 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（信濃川下流）

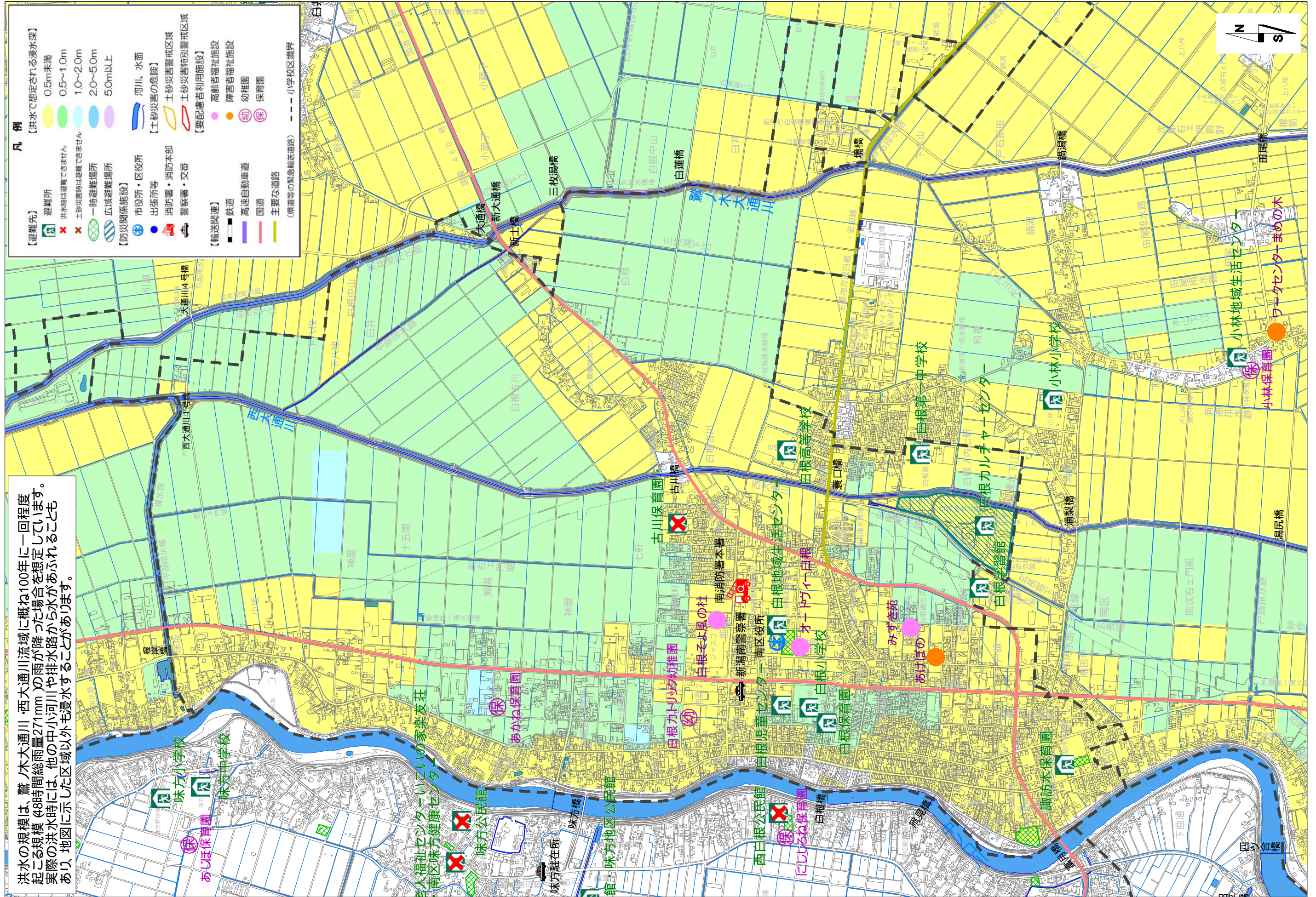


様式6 - 2 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（中ノ口川）



様式6-3 風水害（洪水・土砂災害）対策地図（鷲ノ木大通川・西大通川）

白根小学校区



洪水の規模は、鷲ノ木大通川・西大通川流域に概ね100年に一回程度起こる規模（48時間総雨量271mm）の雨が降った場合を想定しています。実際の洪水時には、他の中小河川や排水路から水があふれることもあり、地図に示した区域以外にも浸水することがあります。

【出典】 基礎の地図 新潟市国土基本図（平成20年、平成25年、平成26年）
 鷲ノ木大通川・西大通川浸水想定区域（新潟県、平成21年8月21日）

